

徳地地域づくり協議会視察研修報告

3月19日（月）徳地地域内各地区の役員25名と事務局2名で、島根県飯南町の「谷自治振興会」へ視察研修に行きました。

飯南町は中国山地のほぼ中央に位置し、広島県と接する豪雪地帯です。その南西部にある谷自治振興会は約100世帯、人口約260人、高齢化率約47%ですが、「住んでよし、訪ねてよしの谷づくり」をスローガンに活発な活動をしている地域です。

平成23年度には総務大臣から「過疎地域自立活性化優良事列表彰」を受賞され、活動の拠点は、閉校となった旧谷小学校を改修して「谷笑楽校」と命名し、公民館と協力して各種行事等を行っており、年間約4500人の来訪者があると聞きました。



今回の視察研修の目的は「高齢者の輸送活動」と「雪かき戦隊・スノーレンジャー」の仕組みと活動状況を勉強することです。



まず、「高齢者の輸送活動」ですが、谷地区にはスーパーマーケットや常設の医院もなく合併によって公共交通空白地帯ができることになったことからスタートし、仕組みは町からワゴン車の無償貸与を受け、運転手として二種免許を持った人や特別な講習を受けたボランティアで運行しています。

利用者は利用予定日の3日前までに公民館に予約を入れ、時間の調整をすれば自宅と目的地までの送迎をしてくれます。

自治振興会の負担はガソリン代や車両修繕費で、利用者からは1乗車200円をいただくだけです。

年間の利用者数は延べ 600 人にもなり、他にも選挙の投票やイベントの参加にも利用され、利用者の方はとても感謝されているそうです。

次に「雪かき戦隊・スノーレンジャー」ですが、豪雪地帯が故の活動で県から一部助成を受け小型除雪機 2 台を購入、地区内でレンジャー隊を結成し、「地域ぐるみで雪退治」を合言葉に木戸道や庭・屋根からの落雪などの除雪作業を行っています。

利用料金は 1 時間 1500 円で以後 30 分ごとに 500 円追加となっています。自分で除雪するのは危険な作業なので利用者が多いそうです。



以上 2 項目のほか、多くの質疑が交わされ予定時間をオーバーしての研修になりました。

最後に谷自治振興会会長さんから自分の地域を住みよくするには

- ・「まず自分から一歩前を出よう」
- ・「声をかけられたら協力しよう」
- ・「イベントには積極的に参加しよう」
- ・「隣、近所、地域は常に気にかけてよう」

とのアドバイスをいただき、大変有意義な視察研修を終えることができました。

研修で得たものは今後の地域づくりに生かしていこうと思いますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

徳地地域づくり協議会
会長 板垣幸男